



全日本民医連総会第43回運動方針を学び

いのちと人権を守る 地域包括ケアをめざそう



全日本医連は2年に1度、定期総会を開催しています。第43回定期総会は2月22日～24日の3日間広島で開催され、今後2年間の運動方針が提起され、同仁会からは、斎藤理事長、今村病院看護部長の2名の全日本理事と、総合病院・森事務長、外山医師、渡邊副看護部長、大島技術部長と介護保険事業部・甘田科長の5名が総会代議員として参加しました。43回運動方針を各職場でしつかり学習し、学びを行動につなげましょう！

世界と日本では大きな変化が生まれています。核兵器禁止条約が国連で採択され、大国の横暴が通じない時代、また、日本では市民と野党の共闘がすすみ、これまで地域で取り組んできた運動や経験が時代を大きく変えてきたことに、展望が持てる時代になつてきました。運動方針の第1章・第2章では時代認識と情勢についてくわしく述べられています。安倍政権がねらう改憲と「戦争する国づくり」と社会保障の解体に歯止めをかけ、未来を守る運動を広げることが強調されています。

章は今後2年間の運動方針である
医療と介護活動の「2つの柱」を
軸とした前回総会以後の全国での
実践や各分野での取り組み事例を
紹介されています。

民医連は、地域や患者の切実な
要求に応え、医療・介護活動を一
同の當みと捉えて患者・利用者
寄り添ってきました。また憲法
依拠し平和と社保運動に積極的に
取り組んできました。この普遍性
な民医連の医療觀が、民医連との
事業所に対する地域の人びとの
信頼につながっていることに確
を持ち、さらに前進することが確
認されました。

ことを支援して「医連」といふ医連の看護理念をさらに深めし「地域担当看護師」を創設するなど、さらに運動を進めて「医連」と熱く語つていただきました。

医連、同仁会がめひす「無差別・平等の医療・福祉」「安心して住み続けられるまちづくり」は、事業所の中にしていただけでは実現しません。この間、学んできたSDH（健康の社会的決定要因）の視点で地域の課題に気付いためにも、学習をいかに実践につなげていくかが重要です。またそれらの活動が職員育成にもつながり、「好循環」を生み出す力になるい

ことを支援して「医連」といふ民医連の看護理念をさらに深め、「地域担当看護師」を創設するなど、元の「運動を進めて」も熱く語つていただきました。

医連、同仁会がねむわ「無差別・平等の医療・福祉」「安心して住み続けられるまちづくり」は、事業所の中にこなだけでは実現しません。この間、学んだときのSDH（健康の社会的決定要因）の視点で地域の課題に気付いたためにも、学習をいかに実践につなげていくかが重要です。またそれらの活動が職員育成にもつながり、「好循環」を生み出す力になることを確信し、今回の運動方針を正面から受け止めしよう。

会グループ
集所だより

2002年10月泉州保健研究所が6店舗目として、
石市に友の会、患者さん達
ご協力で開局しました。

耳原高石診療所の近くに
主に耳原高石診療所の加
盟を受けています。他に
40くらいの医療機関の処方
調剤も行っています。小さ
い薬局ですが、大型店並みに
剤機器は揃っています。

薬剤師はパート職員
を含め4人、事務職員
は2人です。交代で勤
務しています。スタッフ
は高齢化しています
が、毎年薬科大学より

実習生を受け入れ、実務実習指導を行っていますので、若い雰囲気もあります。

オリーブ薬局での調剤だけではなく、市立診療センターの休日出務や、羽衣小学校の学校薬剤師として高石市薬剤師会と協力しています。先日は、小学校で薬物乱用防止教室の講師をしました。薬物乱用の低年齢化が現実にあります。地域の子ども達が、それに関わることなく成長してほしいと願っています。そのためにも、薬の正しい啓蒙を継続していく所へと思っています。

また、たまり場「きのり」で、お薬の話、などを2か月

りました。地域包括ケア時代を迎える中で「地域の中で共に暮らしながら、患者さんだけでなく、患者さんの療養環境である地域を大切に捉える」「人々の健康権が保障され、住みなれた地域で必要な医療や介護を切れ目なく受けることができ、安心して暮らし続ける

く平和な未来を切り拓こう
自治の発展、安心して住み続けられる
と育成・運動との好循環を創り出そう

二二二 ブ落日



〒592-0011
高石市加茂1丁目2-3
TEL 072-268-6111
FAX 072-268-6112

高石市地域とともに16年

2002年10月泉州保健医
薬研究所が6店舗目として、
高石市に友の会、患者さん達
のご協力で開局しました。

耳原高石診療所の近くにあり、
主に耳原高石診療所の処方箋を受けていますが、他にも40くらいの医療機関の処方箋調剤も行っています。小さい薬局ですが、大型店並みに調剤機器は揃っています。

薬剤師はパート職員を含め4人、事務職員は2人です。交代で勤務しています。スタッフは高齢化していますが、毎年薬科大学より

実習生を受け入れ、実務実習指導を行っていますので、
い雰囲気もあります。

オリーブ薬局での調剤だ
ではなく、市立診療センタ
の休日出務や、羽衣小学校
学校薬剤師として高石市薬
師会と協力しています。先
は、小学校で薬物乱用防止
室の講師をしました。薬物
用の低年齢化が現実にあり
す。地域の子ども達が、それ
関わることなく成長してほ
うと願っています。そのた
に、薬の正しい啓蒙を継
して行おうと思いつつあります。
また、たまり場「あひじ

薬研究所が6店舗目として、
高石市に友の会、患者さん連盟
のご協力で開局しました。

耳原高石診療所の近くに立ち
り、主に耳原高石診療所の方々
に薬を受けていますが、他にも
40くらいの医療機関の処方箋
をも行っています。小さい
い薬局ですが、大型店並みに
調剤機器は揃っています。

薬剤師はパート職員
を含め4人、事務職員
は2人です。交代で勤
務しています。スタッフ
は高齢化しています
が、毎年薬科大学より

A photograph of a laboratory or medical facility. In the foreground, there is a piece of equipment with a blue tray and a black control panel. Behind it is a white cabinet with a black control panel. To the right, there is a computer workstation with a monitor and keyboard. In the background, there are shelves filled with glassware and other laboratory equipment. The walls are blue and white.

てお薬の説明などをしながら、
に1回しています。お薬だけ
ではなくサプリメントも含め
て、安全に・有効に使用して
いただくために、職員一同が
役にたてればと思います。
今後とも、どうぞよろしくお願
願いいたします。

A photograph of a laboratory workstation. It consists of a black computer monitor mounted on top of a white central unit. In front of the unit is a blue tray containing various laboratory glassware and equipment. The background shows a white wall with some markings and a small table with a laptop.

て、安全に・有効に使用して
いたぐために、職員一同お
役にたてれば思ひます。
今後とも、どうぞよろしくお
頼ひござります。

貧困と格差、超高齢社会に立ち向かう無差別・平等の医療・介護の実践

〈医療・介護活動の2つの柱〉